



手の上に、はいお菓子で  
すよと火玉をのせられて  
も受け取るような私たち  
である。だから看護と居  
住様式の両面から考慮し  
てもらいたい、とはつき  
りと述べているんですね。

私たち、例え目が見えなくて  
どを作つております。  
しかし園を一步でも離れた広い感覚で作ることがで  
きたら、それだけでも進歩するのではと思ひますからつ  
て、ひたすらお願ひしたら、ようやく理解してくれてね。

国立ハンセン病資料館 2019年度秋季企画展

# 『亡月郷の丘』

盲人会が遺した多磨全生園の歴史

2019.9.28 土 ~ 12.27 金

入館無料

国立ハンセン病資料館

The National Hansen's Disease Museum

〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13

TEL 042-396-2909

2階企画展示室

[開館時間] 午前9:30~午後4:30  
(入館は午後4:00まで)

[休館日] 月曜および国民の祝日の翌日  
(ただし10/14、11/4、11/24は開館)

[www.hansen-dis.jp](http://www.hansen-dis.jp)



国立療養所多磨全生園入所者の視覚障がい者の団体である多磨盲人会は、1979年に『望郷の丘』を出版しました。この本は、盲人会の創立20周年を機会として「多磨全生園の70年にわたる歴史を背景に、盲人を、盲人会を語ることの必要性」から、4年の歳月をかけ編纂されたもので、晴眼者を含めた35名の証言が収録されています。

ここには、今や知ることが難しい第一区府県立全生病院時代の患者とその生活、隔離のなかでの「自治」の模索、戦後の入所者自治会や全国組織である全癡患協(現全療協)の誕生とそれに続く運動などが語られています。また、視覚障がいのために療養所の中でもさらに「弱い立場」とされた人々が、どのような思いでその時々を生きてきたのかや、職員や療養所の外の人々との関わりが、当事者自身の視点から描かれています。本書は療養所の中を知り、同時に当時の社会を捉えることができる貴重な証言集となっているのです。

今回の企画展では、この『望郷の丘』に収められている証言を基として、多磨全生園の歴史を視覚障がい者を含め患者・回復者はいかに歩んできたのか、資料や写真を用いご紹介いたします。彼らの過去の暮らしや営みをることは、本年9月28日に開院から110年を迎える同園の、今後のありかたを考えいくためにも大きな意味があります。本展が多磨全生園の歴史と、そこに生きた人々への理解を深めていただく機会となれば幸いです。



患者作業—盲人の洗濯作業  
大正期 全生病院（現多磨全生園）館蔵



将棋盤  
1969年 多磨全生園 館蔵



看護切替資料  
1957-1976年 多磨全生園 多磨盲人会蔵

## 企画展関連事業

いずれも参加無料、事前申し込み不要、先着順。詳細はホームページにてご確認ください。

- 元職員が語る多磨盲人会—吉野志げ子さん・亀井義展さんをお招きして：10/22(火・祝) 14:00～15:30(13:30開場)  
当館1階映像ホール 先着130名
- やってみよう、鈴ボール！盲人会のレクリエーションを体験：11/2(土) 当館1階研修室
- フィールドワーク『望郷の丘』に描かれた多磨全生園を巡る：10/5(土)、11/24(日)、12/14(土)いずれも14:00～15:00  
多磨全生園 各回先着30名。荒天時中止の場合あり。
- ギャラリートーク：9/28(土)、10/27(日)、11/16(土)、12/22(日) いずれも14:00～14:30 当館2階企画展示室

## 交通案内

### 電車・バス

#### ●西武池袋線ご利用の場合

清瀬駅南口から西武バス 久米川駅北口行きで約10分

#### ●西武新宿線ご利用の場合

久米川駅北口から西武バス 清瀬駅南口行きで約20分

—いずれも「ハンセン病資料館」で下車すぐ

#### ●JR武蔵野線ご利用の場合

新秋津駅から西武バス 久米川駅北口行きで約10分「全生園前」下車、徒歩10分

または新秋津駅から徒歩約20分

### 自動車

関越自動車道 所沢ICから約9km

駐車場の台数が限られていますので、なるべく公共交通機関をご利用ください

